

# 《 RPY-351M8 》

2014.10.20改訂

## 取扱説明書

このたびはラディックス製品をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。  
ご使用前に、取扱説明書をよくお読みの上正しくお使い下さい。  
また、お読みになられた後は、大切に保存して下さい。

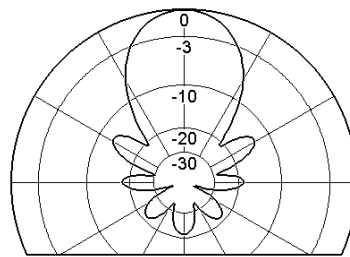
### 【 特 長 】

- ① デジタル簡易無線用の7エレメント八木アンテナです。
- ② エレメントは曲がりに強くサビにくいステンレス鋼 (SUS304) ですので、軽くて丈夫です。
- ③ エレメントだけではなく、ネジ類もすべてステンレス製を採用しました。サビやすい部品はありません。

### 【 定 格 】

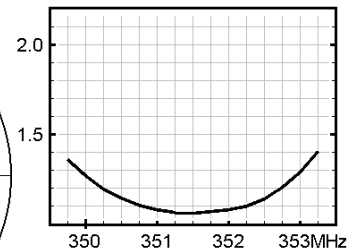
型 式	8エレメント 八木アンテナ
周 波 数	351.0MHz～351.4MHz
インピーダンス	50Ω
利 得	13.15dBi
F B 比	20dB以上
電力半値角	34°
最大入力	50W (FM)
VSWR	1.5以下
ブーム長	1,600mm
回転半径	890mm
コネクタ	M-J
適合マスト	φ25～φ60
重 量	1.1kg

ビーム・パターン



(垂直偏波・水平面)

V S W R 特性

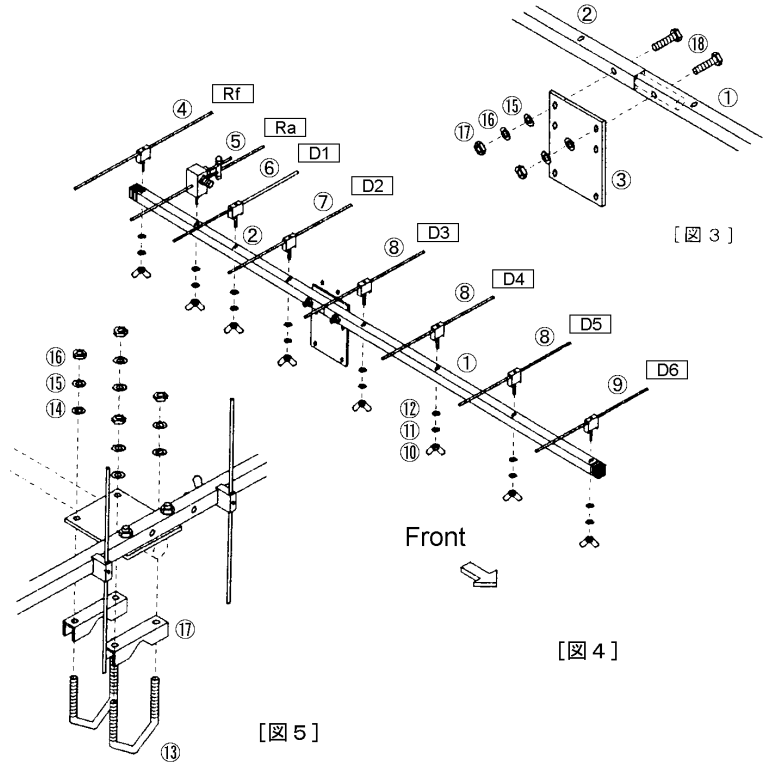


### 安全にお使いいただくために

- エレメントが周囲の電線に接触すると感電したり、無線機が故障する恐れがありますので、電線のそばには設置しないでください。
- 落下防止のため、ネジ類のゆるみがないか定期的に確認してください。
- アンテナの取付や取り外し時は、特に下の状況をよく見て、人通りなどのある時は絶対に作業をしないでください。また引っかけたりしないように周囲に何があるか確認後作業をしてください。
- アンテナを組み立てる時は安全な場所で行い、マスト等に取り付ける際は十分注意し、必ず安全ベルトを着用してください。
- ベランダ等での作業は、手すりから身をのりださないように注意してください。
- 風の強い日や雨・雪の日、また夜間は危険ですので絶対に作業はしないでください。
- 送信中、エレメントには絶対に触れないでください。やけどの原因となり大変危険です。また、運用中は他の人も危険の無いように十分注意してください。
- ローテーター等に取り付けて、アンテナを回転させるときは、エレメント等に接触するものが無いように特にご注意ください。

## パーツを確認しましょう

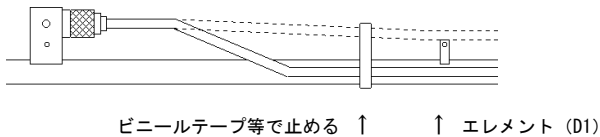
番号	部品名	規格・寸法	数量
①	ブームパイプ(1)	アルミ 15 <sup>□</sup> × 880mm	1
②	ブームパイプ(2)	アルミ 15 <sup>□</sup> × 770mm	1
③	マウント	アルミ 90×90×t4	1
④	エレメント(Rf)	ステンレス 3 <sup>°</sup> ×414mm	1
⑤	エレメント(Ra)	ステンレス 3 <sup>°</sup> ×408mm	1
⑥	エレメント(D1)	ステンレス 3 <sup>°</sup> ×388mm	1
⑦	エレメント(D2)	ステンレス 3 <sup>°</sup> ×378mm	1
⑧	エレメント(D3-D5)	ステンレス 3 <sup>°</sup> ×368mm	3
⑨	エレメント(D6)	ステンレス 3 <sup>°</sup> ×358mm	1
⑩	蝶ナット(M4)	ステンレス M4	8
⑪	S / W (M4)	ステンレス 4mm	8
⑫	平ワッシャ(M4)	ステンレス 4mm	8
⑬	Uーボルト	ステンレス M6-70	2
⑭	平ワッシャ(M6)	ステンレス 6mm	6
⑮	S / W (M6)	ステンレス 6mm	6
⑯	六角ナット	ステンレス M6	6
⑰	マウント・ブラケット	ステンレス M6	2
⑱	六角ボルト	ステンレス M6×30	2



## 組立方法

10mm のスパナと (+) ドライバーをご用意ください。

- ①ブームパイプ(1)を②ブームパイプ(2)に差込み、[図3]の要領でマウントと一緒に接続します。
- ④～⑨の各エレメントのブラケットを、表示に合わせて(1)で組み立てたブームパイプに差し込み、⑫平ワッシャ(M4)、⑪S/W(M4)を通し、⑩蝶ナット(M4)でしっかりと手で締める。この時、コネクタが前方(エレメント(D1)の方向)に向いていることを確認する事。
- マストや片支持ブームなどの取付箇所を、⑰マウント・ブラケットと⑬Uーボルトで挟み、③マウントの穴に合わせて、⑭平ワッシャ(M6)と⑮S/W(M6)を通し、⑯六角ナットをスパナ等でしっかりと締める。
- MPコネクタの付いた同軸ケーブルをコネクタに接続する。  
同軸ケーブルはブームパイプに沿わせ、ビニールテープ等で固定する。  
この時同軸ケーブルがエレメントに接触しないようにパイプの側面(実線)か、エレメントの金具の真上を通る(点線)ようにする。



【参考】固定でお使いの場合は、防水のため、自己融着テープやビニールテープなどで巻いておくことをおすすめします。

## 設置上の諸注意

アンテナは、設置場所や設置方法によって性能やVSWRに影響があります。次の事項に注意して設置してください。

- 金属製のマストには垂直偏波の仕様で直接取り付けすることはできません。その場合は片支持ブーム(製品名:RBS-600他)を用いて金属マストからブームを離して設置してください。
- RPY-351M8は、ブームの先端にあるフロントマークの矢印の方向に指向性がありますので、電波の到来方向(交信局の方向)に向けて設置してください。
- アンテナを回転させる場合、周囲の影響によりVSWRが若干変化する場合があります。

★★★ 感度が上がらない。故障では? という方へ ★★★

同軸ケーブルはチェックしましたか。見た目はへいきでも、古い同軸ケーブルは結構痛んでいるものです。わからない事がございましたら、当社までお気軽にご連絡ください。

- このアンテナはデジタル簡易無線用のアンテナです。この用途以外、規格外、または正常に動作していない状態でのご使用にて発生したトラブルにつきましては、責任を負いかねます。
- ご購入求めいただいた製品は厳重な品質管理のもとに生産されておりますが、万一運搬中の事故等による破損等がございましたら当社までご連絡ください。